

「猫を鳴かせてみよう！」

◆解答例



◆解説

音の項目にあるブロックを使用することで、スプライトに対応した音を出すことができるようになります。今回はこれを使用して、猫をずっと鳴かせるプログラムを作ってみましょう。

前回の要領で、ずっとブロックを使用します。

Meow の音を鳴らすブロックを使用することで、猫の鳴き声の音声を流すことができるので、

Meow の音を鳴らす 命令と 2 秒待つ 命令を繰り返し行わせることで、

「ニャーと鳴く」⇒「2秒待つ」⇒

「ニャーと鳴く」・・・

と、スプライトが2秒おきに鳴き続けるプログラムが完成します。2 秒待つ 命令を使用しないと、隙間なく鳴き続けるので注意です。